

新サービスのご案内

「わかりやすい授業づくり」を実現するための5つのステップアップ型研修キット **実物投影機 活用授業 研修パッケージ 「ニコニコ ICT」**

2010年4月1日（木）より無料公開

株式会社エルモ社（本社：名古屋市瑞穂区明前町 6-14 代表取締役社長：竹内 清）は、産学協同プロジェクト、CSP（クラスルーム・ソリューション・プロジェクト）の一環として、学校や教育機関における書画カメラ（実物投影機）の活用促進を目的として、平成 22 年 4 月 1 日（木）、実物投影機活用授業 研修パッケージ「ニコニコ ICT」を無料で公開いたします。

書画カメラは、教育現場で実物投影機と呼ばれており、TVモニターやプロジェクタにつないで、教科書や児童のノートやプリントなど、手元の教材をそのまま拡大投影することにより、児童の関心を高め、わかりやすく効果的な授業を展開できる ICT 機器として、評価を高めてまいりました。

一方、ICT 機器を導入した学校や教育機関のなかには、導入後に、機器をいかに活用していくか、また、教員の ICT 活用指導力をどのように向上していくかを課題としていることも多く、そのような教育現場の要望に応え、校内や教育委員会等で、初級者から上級者まで、明日からすぐに研修ができるノウハウを集積したパッケージの開発に至りました。本研修パッケージは、5つのステップに分かれており、各コース共に、研修カリキュラム、研修の進行台本、研修スライドデータ、ワークシート等がパッケージされています。また、1回の研修は1時間以内で実施できるように設計されています。

【サービスの特長】

- どの段階からでも始められる、5つのステップアップ型研修
- 1時間以内の研修構成
- 研修に必要な素材がセットされたパッケージ仕様
- ワークショップ形式により、体験しながら ICT 活用指導力が習得できる設計

【サービス一覧】

STEP	研修の種類	内容
1	操作体験研修	機器の接続や操作方法、基本的な使い方、効果的な活用場面が習得できます。
2	操作スキルアップ研修	アームやピント、リモコン、SDカードの使い方や教材提示の工夫などが習得できます。
3	活用シーン習得研修	主要な5つの活用目的について整理し、その目的に応じて実物投影機を活用するノウハウが習得できます。
4	授業技術アップ研修	実物投影機の活用場面の演習を通して、実際の指導場面において有効な授業技術のバリエーションが習得できます。
5	授業設計研修	教材の映し方と、発問・指示・説明などに連動して、実物投影機を効果的に活用するスキルが習得できます。

【サービス内容】

各コースの研修パッケージにセットされている資料

内容物	詳細
研修カリキュラム 「研修の流れ」	研修データのパワーポイントのスライドごとに、研修ステップが記載されています。時間配分や、各場面での活動内容が一目でわかる資料です。
研修の進行台本 「研修の進め方」	研修データのパワーポイントのスライドに合わせて、研修進行者が話す内容が、スライドのページごとに記載された冊子です。
研修スライドの CD-ROM	研修で使用するパワーポイントのデータが入ったCD-ROMです。このパワーポイント・データをパソコンで表示して、「研修の進め方」を読みながら研修を進行できます。また、パソコンが使用できない環境でも、印刷して実物投影機で拡大投影しながら研修を実施できます。
ワークシートや教材等	コースごとに必要なワークシートや教材がパッケージされています。参加者の人数に合わせてコピーして使用できるので、特別に教材を用意する手間を省けます。



【写真】（左）研修パッケージのフォルダー式と、研修パッケージ A の内容物一式（右）書画カメラ（実物投影機）

【CSP：クラスルーム・ソリューション・プロジェクトについて】

CSP(クラスルーム・ソリューション・プロジェクト)は、「わかる授業づくり」のために、教室での日常的で効果的なICT活用について研究を進めている産学協同プロジェクトです。2007年6月に、授業におけるICT活用に関する研究者、学校現場の先生方(主として小学校)により発足しました。プロジェクトリーダーは堀田龍也・玉川大学准教授、サブリーダーは高橋純・富山大学准教授が担当し、教育現場の声を反映させ、具体的な教員のサポートツールや製品の企画、開発を行い、現場にフィードバックしていくことを目指しています。事務局は、株式会社エルモ社が担当しています。

【書画カメラ（実物投影機）とは】

書画カメラとは、書類や立体物をテレビモニターやプロジェクタを介して、そのまま画像でリアルタイムに映し出す映像入力機器で、拡大縮小が自在にできます。「実物投影機」「資料提示装置」とも呼ばれています。最近では、効果の高いICT(*)機器のひとつとして小・中学校の授業での活用へと需要が広がっています。また、文部科学省から新学習指導要領にあわせた「教育の情報化に関する手引」が公表され、その中に「教科指導におけるICT活用」という項目が追加されました。「学校におけるICT環境整備」の項目の中では、普通教室におけるICT環境の整備として実物投影機(書画カメラ)が明記され、書画カメラの情報教育への活用が推進されています。

(*)ICTとは、Information(情報)&Communication(コミュニケーション)Technology(技術)の略語です。授業で活用するICT機器には、書画カメラの他、パソコン、プロジェクタ、電子黒板等があります。

この件に関するお問合せ先

株式会社 エルモ社 ICT マーケティング部内 CSP 事務局

電話:03-3453-6477 FAX:03-3453-6479 住所:東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 4階

e-mail:ict@elmo.co.jp